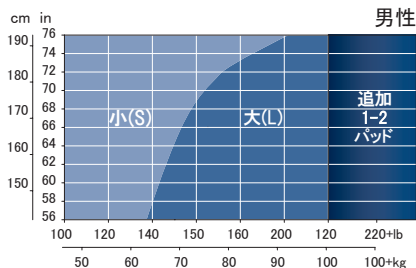
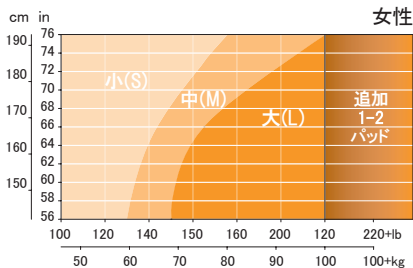


パッドサイズ早見表



コード番号	118 02 020 (S)	118 02 030 (M)	118 02 040 (L)	118 02 010 (追加汎用型)
Empty(空)	1.41kg	1.46kg	1.6kg	0.24kg
循環水入	2.07kg	2.15kg	2.39kg	0.35kg

熱伝導パッドの取り付け

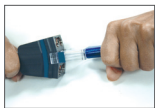
1 熱伝導パッドの装着

1. パッドサイズ早見表を参照し、患者さんに適した熱伝導パッドを選択します。熱伝導パッドが体表面積の40%をカバーするようにします。
2. 熱伝導パッドは乾燥した傷の無い皮膚に装着するようにします。
3. 患者さんを側臥位にします。
4. 熱伝導パッドの背中側になる部分を脊椎に合わせ、熱伝導パッドを前腹部へ巻き付けます。
5. 熱伝導パッドは脇から5cm以上は離して貼り、腕が正常に動くことを確認します。
6. 足用の熱伝導パッドを左右間違えないように太腿部に装着します。
7. 熱伝導パッドが写真のように正しく装着されているか確認します。
8. 患者さんの向きを変え、反対側も同様にして熱伝導パッドを貼ります。



2 パッドのラインを注水ラインに接続します

1. 注水ラインと熱伝導パッドのコネクタの色が合うようにつなぎます。(青は青、白は白)
2. 挿入中は写真のようにプラスチック部分に触れないよう挿入します。



3 使用後の片付け

1. 排水モードキーを押し、熱伝導パッドから水抜きします。
 2. 水抜きが終了したメッセージが表示された後、熱伝導パッドをArcticSunからはずします。
 3. 熱伝導パッドを廃棄し、ArcticSun内の水位を確認後、OFFにします。
- ※ 循環水が不足している場合は、取扱説明書を参照して追加してください。

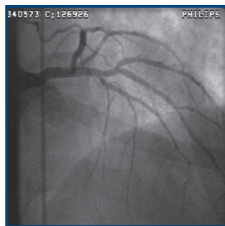


使用中

- ・水温と患者体温を1時間毎に記録してください。
- ・熱伝導パッドを外す前に、必ず水抜きしてください。
- ・患者さんの体温が低下しない場合、取扱説明書を参照してください。
- ・8時間を超えて水温が10℃よりも低い場合、取扱説明書を参照してください。

使う方に優しい特徴

- ・X線であっても熱伝導パッドを外す必要はありません。
- ・水の循環にムラがありません。
- ・熱伝導パッド部分はMRI、CT、X線、カテーテル検査室でも使用できます。



詳細はArcticSunの
取扱説明書を参照
してください。

 **Medivance**
Committed to Restoring Life™

連絡先: IMI(株)
03-5246-9463

www.imimed.co.jp/



MT08074 Rev A

冷却



冷却

常に自動モードで作動させます

1. 裏側の電源スイッチをONにします。
2. 熱伝導パッドを接続します。
3. 体温プローブを接続します。
- ④ 4. **停止**モード中に▼キーにてターゲットタイオンージドゥモード画面に進みます。(既に設定している場合は8に進みます)
- ✓ 5. **Enter (確認)**キーを押し、値を点滅させます。
- ▼ 6. 目標温度が表示されるまで▼キーを押し続けます。
- ✓ 7. **Enter (確認)**キーを押し、設定を保存します。
- Ⓛ 8. **自動モード**キーを押し、冷却を開始します。

復温

復温

初めにターゲットタイオンを変更します

- Ⓛ 1. **停止**モードにします。
- ▼ 2. ▼キーを一度押します。
- ✓ 3. 値を変更するため、**Enter (確認)**キーを押し、値を点滅させます。
- ▲ 4. 目標の加温温度が表示されるまで▲キーを押しします。
- ✓ 5. **Enter (確認)**キーを押し、設定を保存します。

次に復温速度を変更します

- ▼ 6. ▼キーを一度押します。「カネツサイダイージドゥモード」が表示されます。
- ✓ 7. **Enter (確認)**キーを押し、値を点滅させます。
- ▼ 8. 希望の速度になるまで▼キーを押しします。
- ✓ 9. **Enter (確認)**キーを押し、設定を保存します。
- Ⓛ 10. **自動モード**キーを押し、加温を開始します。